

憲問第十四

子曰、君子恥其言之過其行。

子曰わく、君子は、其の言の其の行に過ぎんことを恥ず。

(14-362)

<子曰わく、君子は、其の言の其の行に過ぎんことを恥ず>

Q : 「子曰わく、君子は、其の言の其の行に過ぎんことを恥ず」とは何ですか。

A : (1) 「孔子が言った。学徳ともにすぐれた君子と言われる人物は、自分の口にする言葉が、自分の実際の行動以上の表現になることを恥とするものだ(言葉以上に実践することに努めることである)」の意。

(2) 「君子というものは、その言うことが、その実行することよりも大げさになるのを恥じるものだ」の意。